

シラバス作成の例

授業科目名	医療〇論	授業形態	講義	開講期間	通年	単位	4
担当教員名	F渡、N岸、S田、T川、N内、K村、K沼						
事前受講して欲しい講義等	なし（注：標準配当年次が1年のため）	事後受講して欲しい講義等	医療社会学、など。履修系統図(下記)をご参照下さい。 http://www.tfu.ac.jp/education/fhs/dheq/pdf/system.pdf				
授業のテーマ	「患者さんのための医療とは何か」						
授業の目的	健康科学部の学生さんとして、まず「医療」に興味・関心を持ってもらうことを目的としています。						
授業の到達目標	①医療に関係する様々な文章を読んで、その内容を説明することができる。 ②医療に関する課題について、チームで話し合いを行って意見をまとめ、発表することができる。 ③日本の医療の問題点について、自らの考えを述べるることができる。						
授業の概要(内容) (200～250字)	病院・クリニックや医療機器メーカーなど、医療に関わる多くの職場で役立つ医療の基本を身につけます。普段なかなか知ることができない病院内部のしくみや治療のながれ、治療費の決め方、カルテはどんなふうにかかれるのかなど、実際に医療機関で使われていた書類なども用いて調べてゆきます。また、報道記事などを参考に、医療ミス、医療の質の地域格差、医療保険制度の疲弊など、現代の医療で浮き彫りにされた様々な問題についても理解を深めてゆきます。						
授業の方法	下記の授業計画に従って、前期はアクティブラーニングの一種である「チーム基盤型学習(Team-based learning; TBL)」を、第Ⅰ～第Ⅲの3回に分けて行います。後期は、テキスト・参考書を中心に我国の医療に関わる制度やその歴史・背景について学習し、前期で習得したTBLの方法で課題へアプローチしてゆきます。						
授業時間外学修(予習・復習等)	各授業の最後に、次の回までに予習すべき内容をお伝えします(例えば、教科書の〇〇ページをよく読んでくること、など)。予習の結果分からなかったこと、疑問に思った点について、授業で教員に質問する習慣をつけて下さい。そして、授業終了後には、授業で配られたプリントやノートを見ながら、しっかり理解できたかどうか確認しましょう。						
評価の方法・基準(評価割合)	前期(50%)：TBLにおける課題への取組姿勢と成果(発表含む)について、1. コミュニケーション能力、2. プレゼンテーション能力、3. 問題発見・解決能力、4. 情報リテラシー、の4つの視点から所定のルーブリック(UNIPA上のマイステップにおけるキ-1～キ-4に掲載の評価基準と配点)に基づき評価します。合計点を100点満点に換算して成績とします。 後期(50%)：試験により評価します。						
特記事項(資格認定科目等)	診療情報管理士認定試験の受験資格を得るための必修科目です。在学中に認定試験の受験を希望する場合は、必ず2年次までに単位を取得して下さい。						
履修上の注意事項	大学では、高校までとは違った様々な学びがあり、みなさん一人一人の進度(理解の速度)が異なっているのが普通です。1年生のうちに、自分自身の学修のペースをつかみましょう。						
前期授業計画(テーマと内容等)【必須】				後期授業計画(テーマと内容等)【必須】			
①	学科ガイダンス(担当:全員) *1年次の履修計画の全体やこの授業の位置付け、各種資格について説明します。	①	1. 医学の歴史(担当:F渡) (1)補習① 基礎 診療情報管理士資格取得に向けた補習を行います。				
②	チーム基盤型学習(TBL)のオリエンテーション(担当:T川) *授業のテーマ・目的や前期の授業プラン、評価などの詳細について計画表を配布して説明し、チーム分けを行います。	②	(2)補習② 医学 診療情報管理士資格取得に向けた補習を行います。				
③	第Ⅰクール「病院のしくみ」(担当:F渡、T川、K村) (1)問題提起 私たちが病気やけがで病院に行ったとき、困ったり疑問に思ったりしたことを抽出します。	③	2. 医の倫理(担当:F渡) (1)医療従事者と使命倫理 医療従事者と生命倫理について学びます。				
④	(2)ディスカッション 抽出された様々な事柄について、担当するチームを決め、解決の方法をチームで話し合いながら探ります。	④	(2)患者の権利 患者の権利について学びます。				
⑤	(3)チーム作業 チームの中で役割分担を決め、プレゼンテーションの準備をします。	⑤	(3)ターミナルケアの課題 ターミナルケアの課題について学びます。				
⑥	(4)成果発表 問題とその解決方法案について、チームの意見を全員の前で発表します。	⑥	3. 医療制度(担当:N岸) (1)日本の保険医療制度 日本の医療保険制度について学びます。				

⑦	第Ⅱクール「医学と医療」(担当:N岸、S田、T川) (1)問題提起 時代の流れと共に、私たちの命を脅かす病気の種類が変わってきました。今何が話題となっているのか、いくつかの話題を取り上げます。	⑦	(2)医療政策と医療計画 医療政策と医療計画について学びます。
⑧	(2)ディスカッション…抽出された話題について、担当するチームを決め、現状を調べると共に、対策について探ります。	⑧	(3)高齢者ケアシステム 高齢者ケアシステムについて学びます。
⑨	(3)チーム作業 チームの中で役割分担を決め、プレゼンテーションの準備をします。	⑨	4. 地域保健と公衆衛生(担当:K沼) (1)保健医療サービスの提供体制 保健医療サービスの提供体制について学びます。
⑩	(4)成果発表 それぞれの話題についての現状と対策案について、チームの意見を全員の前で発表します。	⑩	(2)医療の国際化 医療の国際化について学びます。
⑪	第Ⅲクール「現代医療の光と影」(担当:N岸、T川、N内) (1)問題提起 マスコミ等で報道されている我が国の医療に関する問題について、興味のあるものを選びます。	⑪	5. 予防医学(担当:K村) (1)ヘルスプロモーションの科学 ヘルスプロモーションについて学びます。
⑫	(2)ディスカッション 選んだ問題について、担当するチームで現状を調べ、解決策を探ります。	⑫	(2)リハビリテーションを理解しよう リハビリテーションについて学びます
⑬	(3)チーム作業 チームの中で役割分担を決め、プレゼンテーションの準備をします。	⑬	(3)ノーマライゼーションへの道 ノーマライゼーションについて学びます。
⑭	(4)成果発表 それぞれの問題について現状と解決策について、チームの意見を全員の前で発表します。	⑭	6. 医療と経済(担当:S田) (1)少子高齢化社会の医療保障 少子高齢化社会の医療保障について学びます。
⑮	評価シートを用いた達成度チェック(担当:T川) *前期の取組を振り返り、チーム作業を通して目標の①～③がどの程度達成できたかを自己評価します。また、何故そう評価した、評価を高めるために次に何をすべきか、の2点を記述します。	⑮	(2)保健・医療・福祉の連携 保健・医療・福祉の連携について学びます。
⑯		⑯	定期試験
教科書・テキスト	診療情報管理士テキスト「診療情報管理Ⅰ(基礎・医学編)」		
参考書・参考資料・参考URL等	「学生のための医療概論」第3版増補 千代豪昭／黒田研二 編 医学書院		
備考	授業紹介の動画が下記のサイトでご覧になれます。 http://www.tfu.ac.jp/education/x/x/■■/△△/○○		
連絡先(質問等)	授業終了時、UNIVERSAL PASSPORT のクラスプロフィールのQ&A、オフィスアワー(曜日時間はUNIVERSAL PASSPORT の時間割表(教員別)で公開)		